

【港北区】令和 7 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 7 年 6 月 11 日 午前 10 時 50 分 ～ 午後 11 時 40 分
場 所	港北区役所 4 階 1 号・2 号会議室
出席者	<p>【座 長】佐藤祐文議員</p> <p>【議員 : 7 名】福地茂議員、大山しょうじ議員、白井正子議員、かざまあさみ議員、酒井誠議員、望月康弘議員、大野トモイ議員</p> <p>【港北区 : 21 名】竹下幸紀区長、酒井啓彦副区長、富田千秋福祉保健センター長、小野哲也福祉保健センター担当部長、澤木勉港北土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	1 令和 7 年度個性ある区づくり推進費の執行状況について
発言の 要 旨	<p>大山議員 :</p> <p>放置自転車の台数が令和 5 年度に比べて令和 6 年度は増加している。地域的な特徴など、わかることがあれば教えてほしい。</p> <p>安達地域振興課長 :</p> <p>綱島駅周辺での放置台数の増加が顕著だった。一方で綱島駅周辺の駐輪場については、まだ空きがあるので、放置禁止の啓発活動を進めていきたい。</p> <p>大山議員 :</p> <p>綱島駅周辺には新綱島駅周辺も含まれるのか。</p> <p>安達地域振興課長 :</p> <p>含まれる。</p> <p>大山議員 :</p> <p>放課後児童クラブの情報提供の取組について、意外とクラブ側に知られ</p>

ていない面がある。児童やスタッフの募集など、クラブと連携した広報や、クラブからの相談対応について、どのように実施しているのか。

伊藤学校連携・こども担当課長：

児童の募集については、小学校の就学時検診や入学説明会でチラシを活用した広報を行っている。また、クラブから効果的な周知の方法等の相談を受けた際は、一緒に考えていきたい。

大山議員：

是非クラブと区役所で密に連携して、広報を実施していただきたい。

大山議員：

区民文化センターミズキーホールが開館して1年と少し経ったが、綱島駅からの案内表示がなく、来場者に道が分かりづらい。鉄道会社や商店街の協力を得て案内表示を設置する等の対応が考えられるが、区役所の課題感と対応について、教えてほしい。

安達地域振興課長：

ご指摘のとおり、案内表示が少ないことは課題であり、鉄道会社のご協力を頂く、電柱を活用するなどの対応が必要と考えている。

望月議員：

まるごとまちごとハザードマップの設置が4年目となるが、まだまだ周知が足りないと思う。また、想定浸水深の看板を見て、不安に感じるという方もいる。どのように区民へ周知し、どのような声があるか、教えてほしい。

吉田総務課長：

設置の際に、設置箇所も含めて自治会町内会の皆様と相談し、そこから地域の皆様へ広まっている。各地点の想定浸水深を示す看板のため、看板を見て、その場で浸水想定を感じていただきたいと考えている。

ご指摘のとおり、看板を見て不安に思うとの声を頂くこともあるので、その場合は看板を外すなどの対応をしている。一方、ここまで浸水するのかと勉強になったとの声も頂いており、様々な受け止め方があると感じている。バランスを取りながら事業を進めていきたい。

望月議員：

区民の方に、命を守るためにどうするかを考えるきっかけにしていきたい。引き続き広報してほしい。

望月議員：

地域防災拠点備蓄倉庫の狭あい化への対応で、段ボールベッドをスチール製のワンタッチベッドに置き換えることで、スペースの余裕ができるのかを伺いたい。

吉田総務課長：

ワンタッチベッドは段ボールベッドに比べ、3分の1程度のスペースになる。

望月議員：

外国籍の住民の方に、ごみの出し方が伝わりづらいという課題がある。ごみの出し方について、例えば英語や中国語の動画を必ず視聴してもらう、ごみの集積場所にQRコードを表示して見てもらうなど、外国人住民の方に理解してもらえるような取組が必要と思うが、区の考えを教えてください。

菅野資源化推進担当課長：

外国人住民の方に向けて、ごみの出し方についての6か国語のステッカーを用意しており、区内でも要望をいただいたところに掲出している。引き続き、工夫しながら取り組みたい。

望月議員：

特に転入時に、ごみの出し方をよく理解していただくことが大切と思うので、検討していただきたい。

竹下区長：

浸水想定エリアのリスクも含めて、区でもウェブページ等を活用して広報しており、外国語での発信も充実させていきたい。

大野議員：

子ども向けの交通安全や防災の取組について、小学生以上対象のものが掲載されているが、未就学児向けの取組があるか伺いたい。

安達地域振興課長：

交通安全については、特に高齢者や児童を対象とした事業を行っている。未就学児向けには、各種交通安全キャンペーンが該当する。

吉田総務課長：

支え合い防災教室では、保育所等の職員を対象に研修を実施している。未就学児自身はまだ小さいため、まずは保育士等が発災時に対応できるよう啓発を進めている。

大野議員：

未就学児の頃から、交通安全について教えることは大事だと思う。また、保育園では防災訓練が実施されているが、保育園に通っていない未就学児は防災のことを知る機会が少ない。新たな横浜市地震防災戦略の策定も機に、未就学児向けの防災啓発にも取り組んでいただきたい。

大野議員：

障害者スポーツ文化センター横浜ラポールが現在工事中のため、港北区公会堂で障害者の方が参加するイベントが行われている。公会堂は一見するとスロープが見当たらず、車いすで利用することが難しいように見えるが、実際には電動リフトが設置されている。電動リフト等の設備を周知するなど、障害者の方を温かく迎え、合理的配慮を強化してほしい。

安達地域振興課長：

現在、ラポールが使用できない中、身体障害者の方の公会堂の利用が増えていることを踏まえ、公会堂の予約等の際に、リフトや車いす対応座席等の設備について、積極的に案内するよう公会堂と確認している。

白井議員：

地域における災害時要援護者支援事業について、災害時要援護者名簿登載者のうち、地域への情報提供に同意をいただいている方の人数を教えてください。

阿部高齢・障害支援課長：

現在、5,797 名の方に同意いただいている。同意を得られた方の名簿を地域の方々に提供し、啓発物品やチラシを使って訪問していただくよう依

頼している。

白井議員：

本事業を地域の方々に知っていただくことが大切だと思う。ハンドブックを自治会町内会の会合の際に周知するなど、取組を進めてほしい。

酒井議員：

自治会町内会の加入促進について、新たな取組があるか、また加入率が増加しているのかを教えてほしい。

安達地域振興課長：

自治会町内会の加入促進については、資料に掲載しているもの以外に、区民の身近なイベントでの広報活動として、2月8日の港北区防災講演会や3月30日の綱島桜まつりにおいて、チラシ配布、掲示等を行った。

自治会町内会の加入率については、毎年、各自治会から4月1日時点の加入世帯数を記した現況届を提出していただき、市民局で取りまとめて加入率を算出している。昨年の4月1日時点の加入率は61.8%だが、今年の4月1日時点の加入率は秋ごろに集計結果が分かるため、現時点では増減を把握できていない。

酒井議員：

転入者は必ず区役所に来るので、引き続き広報を続けていただきたい。

酒井議員：

マイナンバーカードの更新について、今年、多数の更新があると思うが、どのような手続きか、また窓口の体制や混み具合を知りたい。

平田戸籍課長：

マイナンバーカードの更新については、カード本体の更新と電子証明書の更新があるが、どちらも更新案内が封書で届く。封書の中に窓口予約の案内があり、予約の上、窓口に来庁していただく流れとなっている。

土曜日は予約が取りづらい状況だが、予約が取れなくても、来庁してお待ちいただければ、現在は更新が可能である。また、センター北マイナンバー特設センターは比較的予約枠に余裕があり、平日夜間も更新できるため、積極的に広報していきたい。

	<p>佐藤議員：</p> <p>町内会の加入率については、各町内会が３月に総会を開き、４月に会員、会費を募るので、４月１日現在の加入者数は、前年度の加入者数になるのではないかと思うが、いかがか。</p> <p>安達地域振興課長：</p> <p>４月１日付の情報を現況届として提出していただくので、ご指摘の内容は検討課題として市民局に伝えて参りたい。</p>
備 考	